「ハンチントン病の病態を緩和する分子標的の探索」
に関する情報公開

当センターでは、東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方を対象に下記の共同研究を実施します。病理解剖の際に医科学研究への協力にご承諾をいただいておりますが、改めて本研究へのご協力を承りますようお願いいたします。

なお、本研究への協力を望まれない場合、あるいは研究の詳細についてお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ担当者までご連絡ください。

●研究の名称

ハンチントン病の病態を緩和する分子標的の探索

●研究責任者

東京都健康長寿医療センター　神経病理／高齢者ブレインバンク　　齊藤祐子

●研究の対象

2001 年 7 月～2024 年 3 月に東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方の内、病理診断によりハンチントン病と診断された方および顕著な疾患なしと診断された方。

●研究の期間

倫理委員会承認後から 2024 年 3 月まで

●研究の目的と概要

ハンチントン病は遺伝性の神経変性疾患であり、運動機能障害のみならず認知機能障害、精神症状を伴う致死的疾患です。原因遺伝子としてハンチンチン遺伝子（Htt）が特定されており、遺伝子変異により３つの核酸（CAG）の繰り返し配列が異常に伸びることが病態を生じる原因と考えられていますが、詳細なメカニズムは不明です。

我々はハンチントン病の病態形成に関与している可能性のある複数の分子に着目し、マウスハンチントン病モデルにおいて実際にそれらの分子の発現が病変部位で変化していること、これらの分子に介入することで病態を緩和できる可能性があることを明らかにしています。本研究計画ではこれらの分子が実際のヒト病態においても重要な役割を果たしている可能性について検証いたします。

●研究の方法

東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクよりハンチントン病患者及び対照となる症例の脳組織切片の提供を受け、目的タンパク質の抗体を用いて免疫染色を

中心とした発現確認を行い、比較検討いたします。試料は匿名化されて東京都健康長寿医療センターから共同研究先である大阪大学に宅急便で送られます。
得られた研究成果は、個人の特定ができないようにした上で、国内外の学会や学術雑誌、データベース等で公表されます。

●研究に使用する試料・情報
ハンチントン病および対照症例の脳組織切片及びそれに関連する情報

●研究組織
東京都健康長寿医療センター　神経病理／高齢者ブレインバンク　　齊藤祐子
村山繁雄
大阪大学大学院医学系研究科分子神経科学講座　　山下俊英(研究代表者)

●お問い合わせへの対応
本研究に関するご質問や資料閲覧のご希望は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。
研究計画書や研究方法に関する資料については、ご遺族の希望に応じて、他の研究対象者や研究者に不利益が及ばない範囲内で、ご覧になることができます。また、研究への協力撤回を表明された場合は、速やかに研究での利用を停止いたします。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることはございません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なご対応ができない場合がありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】
〒173-0015　東京都板橋区栄町 35 番 2 号
東京都健康長寿医療センター
高齢者ブレインバンク/神経病理　　齊藤祐子
電話 03-3964-3241 内線 4419 (平日 9:00~17:00)